

## 私たちの学校では

### サンホセ日本人学校 PURA VIDA !



平出 善男

#### 1 美しい自然豊かな国 コスタリカ

ここコスタリカは、永世中立国として、また、美しい山々と「Costa Rica (美しい海岸)」に恵まれた、「中米のスイス」とも呼ばれる国です。そのコスタリカの中央部にある首都サンホセに、サンホセ日本人学校があります。

コスタリカは赤道に近いので、熱帯のイメージをお持ちの方も多いかと思います。ビーチは常夏の気候で、もちろん1年を通して海水浴が可能です。しかし、ここサンホセは標高が高いため(1,100m余り)過ごしやすく、1年を通して日本の春に近い気候です。

「軍隊を持たない国」として有名なコスタリカは、平和を愛すると同時に、教育に対する関心も非常に高いものがあります。そのため、義務教育の普及率は欧米諸国並であるといえます。また、コスタリカの人々は大変に親切で、我々日本人に対しても笑顔で話しかけてきてくれます。「PURA VIDA!」とは、こちらで挨拶代わりに使われる「とても元気です」という意味です。

#### 2 サンホセ日本人学校の概要

本校は、1974年(昭和49年)にコスタリカ日本人会の方々の力によって創立された学校です。今年度の10月2日には、日本人会と合同で30周年記念式典を行いました。

今から30年前に児童生徒数23名でスタートした本校は、その後70名近い子どもたちを抱えた時期があったものの、現在は児童・生徒数28名(2004年12月18日現在)となっています。教職員は、日本からの派遣教員が8名、現地採用の職員が3名の計11名です。

学校施設は非常に恵まれており、広々とした芝生のグラウンドに体育館、コンピュータ

室に図書室、理科室や音楽室など素晴らしい環境が整っています。

教育内容は、文部科学省の定める初等・中等教育を実施しています。さらに、コスタリカにある日本人学校という特色を生かして、国際性豊かな人材の育成を図るために、様々な教育活動が行われています。



#### 3 特色ある教育活動

##### (1) 語学

コスタリカの公用語はスペイン語です。そのため、本校でもスペイン語の授業が行われています。必修のスペイン語の授業以外にも、選択語学としても日本語・英語・スペイン語が設定されており、児童生徒が自由に選択できるようになっています。また、日本語教育にも力を入れています。毎日行われる「朝の読書タイム」や学校行事として書き初め会・百人一首大会等も行っています。

##### (2) 学校行事

サンホセ日本人学校では、その環境を生かした学校行事への取り組みが多数なされています。ここでは、その中でも代表的な学校行事を4つ紹介します。

第1に、9月15日に行われた、独立記念

パレードです。法被を着た日本人学校の子どもたちが、沿道の歓声に応えながら、コスタリカと日本の曲を演奏しました。



次に、現地校との交流です。本校は、サン・アンソニー校とパン・アメリカン校との交流を1年間を通じて行っています。お互いの学校行事への参加に始まり、体育の授業交流もしました。そして、交流における最も大きなイベントは、本校で行われるインターナショナルデーです。この時は、現地校の児童生徒に日本文化を紹介するとともに、体験してもらいました。日本文化紹介では、小学部が物語「大きなカブ」を演じたり、「祭り」を御興とともに再現しました。中学部は、男子が「黒田節」を女子は「日本舞踊」を披露し、大きな拍手を浴びました。また、日本文化を体験してもらう際には、折り紙・習字・けん玉・コマ・福笑い等を体験してもらいました。

第3に宿泊学習です。今年度は自然体験と先住民インディヘナスの研究をテーマに、本校からスクールバスで1時間半程のところにある、サラピキ川へ行って来ました。ジャングルを歩いた際には、虫さされを気にしながらも、美しい毒カエルや毒蛇、ナマケモノや顔の白いサル、さらには白いコウモリとの遭遇を果たしました。インディヘナスの遺跡や彼らが使った楽器・装飾品・薬草などに直接触れ、コスタリカの文化を見直す経験もしました。

そして最後に日本人会の方々と合同イベントです。球技大会や音楽会、そして餅つき大会が行われました。餅つき大会では、餅つき器5台・杵と臼を3セット用意し、45kgの餅米をつき上げました。さらに、3学期の1月23日には、第28回日本人会・日本人学校合同大運動会が行われました。



### (3) 総合学習

本校では総合学習をティコ・タイムとよんでいます。ティコとは「コスタリカの」「コスタリカの人」といった意味です。つまり、本校の総合学習は、「コスタリカ」をテーマに取り組んでいます。児童生徒それぞれがテーマを設定し、インターネットを活用するのはもちろんのこと、直接足を運んでのインタビューなどを行いました。そして、保護者の方々を招待してのティコ・タイム発表会では、子どもたちがプレゼンテーションソフトを用いて発表を行いました。

## 4 サンホセ日本人学校の今後

本校では、学期末に学校評価のためのアンケートを教職員のみならず、児童生徒および保護者の方々にもお願いしています。そして、その評価を分析・考察をする事で、次の教育実践へとつなげていっています。現状にとどまることなく、次の目標に向けて意識とそれに伴う教育実践の見直しを図っていこうとの姿勢を持つよう努力しています。

子どもたちが日本の義務教育段階の教育を十分に受けられるよう最大限の努力をしています。また、日本人学校がより開かれた学校となることで、コスタリカで生活する日本人の方々に対し何らかのお力になればと考えています。さらに、来年度は日本とコスタリカの国交70年の記念すべき年だとも聞いています。我々職員が、現地の方々と文化やスポーツを初めとする交流をすることで、日本とコスタリカを繋ぐ架け橋の役割を少しでも果たせればと思っています。

子どもたちとともに大きな夢をもって、学校生活を送っていきたいと考えております。

